

建球会報告

第39回(25周年記念)建球会ゴルフコンペが参加者26名で9月21日東児が丘マリニヒルズゴルフクラブで盛大に開催されました。

当日は、台風15号が岡山を直撃し最悪のコンディションの中、見事台風の目で優勝したのは、佐藤健治さんでした。表彰式では、全員に豪華商品の授与が行われ歓談の後、解散となりました。

台風の中また早朝から山本代表幹事には、ゴルフ場にきて頂きありがとうございます。山本代表からいただいた25周年記念賞の蘭の植木鉢は、料治さんが喜んで持って帰られました。

また、来年度は幹事が交代します。2年間皆様方のご協力を頂きありがとうございます。建球会幹事 金谷 庸一



忙しい仕事も済んで今日はこの通にしようかなあ。たのしいなあ。大塚建築設計事務所 大塚正次



会員の皆様のアフター5。今回も個性あふれるアフター5ですね。



これと言った趣味はないのですが、時間があればあちこち見て歩くのは好きです。11月3日文化の日、京都御所が一般無料公開されたので、妻を強制的に誘い見学に行きました。そのあと京都の街中で妻はショッピング高い見学代になりました。(有)宇川建築計画事務所 宇川 民夫

上位成績は次の通り(〇・I・G・H・Nの順 敬称略)

優勝	佐藤 健治(タニコー)	55・49=104-36=68
準優勝	亀山 良和(芝岡)	41・47=88-17=71
3位	赤木 宏聡(赤木電機)	50・57=107-36=71
4位	龍門 誠(両備商事)	40・41=81-9=72
5位	中谷 輝(岡山ガス)	46・45=91-16=75

私のアフター5



アフター5子供と一緒に道場で汗を流す。家では優しいお父さん、道場では怖い先生を演じています。山田工業 山田 健



「幸せだなー」(朝アサエ) エンジン アーリング 西山 信司

新入会員の案内

四国化成工業株式会社 中国営業部
代表者 部長 木村 和正
OKC担当者 能瀬 三千子



編集後記

まずは今回のFILE発行について、懐かしい原稿依頼にご協力くださった方々に感謝申し上げます。さて、今年も残すところ一月となりました。OKC25周年の年ということもあって、数多くの行事がおこなわれ、会員の方々には例年にも増して忙しい年になったことと思います。加えてJIAとの一体化についての問題では、OKCのあり方を改めて考えさせられる年でもありました。まだ大きな催し・行事も控えております。あとひと息ふた息、OKCらしく連帯と笑顔で進んでいければと思います。大丸 和子

FILE編集部
編集長 大丸和子
編集委員 小畑誠一郎
編集委員 田中良平

岡山建築設計クラブ

URL <http://www.optic.or.jp/okcc/>
E-mail okcc@optic.co.jp
〒700-0022 岡山市北区岩田町2-26 ニュー中桐ビル
TEL.086-233-1276
FAX.086-233-8351

2011 Autumn & Winter

FILE!

OKAYAMA KENCHIKU SEKKEI CLUB

10月例会報告

10月19日18時20分から岡山県生涯学習センター(北区伊島町)2階大研修室で10月例会を開催しました。正会員30人、賛助会員27人、一般7人の計64人が参加されました。

お忙しい中大勢の方々のご参加厚く御礼申し上げます。今回の例会は『東日本大震災現地報告』をとおして、今後の災害対策を考えなおそうという思いで企画いたしました。内容は建物被害に関する報告と地盤被害に関する報告の二部構成で行いました。



た。映像だけでは伝わらない深刻な津波被害の実態や、仮設住宅での被災者の方々の精神状態に関する報告には被災された皆様の心の傷跡の深さを改めて痛感させられました。二部はまず「地盤に着目した東日本大震災現地レポート」と題して株式会社三友土質エンジニアリング 常務取締役 橋本光則様に説明をして頂きました。津波到着の前に液状化が発生していた事、基礎補強住宅の液状化被害は少ない反面、べた基礎の液状化被害が大きく建築紛争が拡大している事や造成地の地すべり被害の報告等、また液状化対策の工法もまじえた興味深い報告でした。次に「液状化のメカニズム岡山地域に於ける液状化の危険度」と題して岩水開発株式会社 技術部課長 丸岡正季様に説明をして



頂きました。具体的な岡山での液状化の危険度マップや液状化対策工法等、勉強になりました。最後に「液状化に対する、事前の対策及び事後の対策」と題して株式会社コケエイ 横田亜都伯様に説明をして頂きました。事故後における地盤対策工法について、実例を挙げながら大変わかりやすく説明をしていただきました。今回の公演が今後起こるであろう東南海、南海地震などの災害の対策のヒントになるものと願っています。講師をして頂いた皆様には大変有難うございました。また、司会を担当して頂いた岩井様をはじめ当委員会の皆様、ご協力有難うございました。テーマ・交流委員会 森 茂樹

納涼例会報告

平成23年度納涼例会は、8月3日(水曜日)正会員29名、賛助会員46名、計75名の出席でした。開催場所は、丸の内にある、イタリアンキッチン ジオ・ジオノ。テーマは、「真夏の夜の星の下で」と題しまして、ガラス屋根越しに星を見ながら、ワインを傾け、日頃なかなかお目にかかれない方々との親交を深めていただきました。はじめに、持ち込みのシャンパンで乾杯です。シャンパンは、あるテレビ番組で、最高級のドンペリ・ロゼに勝ったという、噂の「ロアー・グラット」カヴァ・ロゼブリュット。美味しかったと皆さんに好評でした。お料理は、もちろんイタリア料理でビュッフェ形式。オードブル3種、ピザ・パスタ2種ずつ、メイン1種にデザート&珈琲、飲み放題のワインはイタリア北部、ヴェネト州のヴェローナに本拠を構えるバスクアの赤と白。イタリアのテブルワインで安価ですが、柔らかな口当たりです。アトラクションは最初に伝言ゲーム。アルコールが入った人間の伝達力の曖昧さを再確認したゲームでした。次にビンゴゲーム。豪華な賞品がたっぷりテーブルの上には並べられ、なんと最初にビンゴ達成は親睦委員長の私でした!商品を選ぶ権利は無視され、強制的にジオ・ジオノさん提供のワインサービス券を渡されました。・(ワイン好きの私にはちょうど良かったのですがね)楽しい時間はあっという間に過ぎてゆくもので、出席された会員の皆様の笑顔を見送り終了いたしました。裏方で協力していただいた親睦委員会の皆様、ありがとうございました。竹澤 由紀

